令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	工業情報数理	単位数	２	学年	１	科	電気科

１、科目の目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させると共に、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

２、使用教科書・副教材

工業情報数理（オーム社）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	１．産業社会と情報技術 ・情報化の進展と産業社会 ・情報モラル ・情報のセキュリティ ２．コンピュータシステム ・ハードウエア ・ソフトウェア	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	２．コンピュータシステム ・情報通信ネットワーク ３．アルゴリズムとプログラミング ・アルゴリズム ・プログラミング	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	３．アルゴリズムとプログラミング ・制御プログラミング ４．数理処理 ・単位と単位概算 ・コンピュータを活用した数理処理	学年末考査	２２

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する。	
		問題集やGoogleFormによる課題ドリルへの取り組み状況と、その成果を評価する。	
		ノートおよび学習ファイルを定期的に提出し、その内容を評価する。	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」Ｅ５による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

- 問題集等を使用し、繰り返し添削指導することで、実践的な学習内容を重視する。
- 自分の学習到達度を客観的に判断するために、振り返りシートをまとめた学習ファイルを作成することで、主体的に課題解決能力を身に付けられるようにする。